



「男女平等参画」はみなが安心して働ける社会をつくる第一歩!



—第15回男女平等参画学習会を開催— 参加者全員で連合作成の「ハラスメントを許さないMeTooプラカード」を掲げ「ハラスメント根絶」を訴えた

6月16日(土)、まなびタウンとうはく(琴浦町)に参加者総勢85人(うち女性30人・参画率35.3%)が集い、連合奈良の西田美会長を講師として迎えた講演会からなる「第15回連合鳥取男女平等参画学習会」を開催しました。

どの報告がありました。

◆講演
 男女がともに生きやすい社会と労働組合の役割とは
 講師 連合奈良会長 西田一美さん

あわせて、連合奈良では副事務局長も女性2人が就任しており、「政界や企業、あらゆる場面で女性が少ない。3割ほど女性がいれば個人的な課題が社会的な課題として認められる。労働組合としても女性の参画率3割を目標に努力をし、取り組みを進めていきましよう」と訴えられました。

【まとめ】
 連合鳥取 澤田陽子男女平等局長

(副会長)

2017年秋の役員改選により、連合宮崎に続き地方連合会で2番目の女性会長となり、各方面から注目されました。そのことが、逆に女性の社会参加が遅れている証となり、注目されている立場を利用して女性活躍について発信を強化しているという事でした。

【産別の取り組み報告】

○電機連合 河村正之さん

○紙パ連合 内田卓実さん

また、連合奈良で「女性の未来塾」を開き、アナウンサーを講師に迎えて「発信力」を身につける勉強をしたり、ホームページや街頭行動で男女平等をPRしていることなど

今年度、鳥取県女性活躍推進計画の施策に「男性の家事、育児、介護の参画」が決定した。みな安心して働ける社会をつくる第一歩が男女平等参画の取り組みである。
 *男女ともにワーク・ライフ・バランスに取り組み、女性が働きやすい職場作りを進めよう!
 *男性の支えがあるからこそ女性が働ける。仲間を支えていこう!



写真上/講師西田会長

<産別の取り組み報告>



電機連合

紙パ連合

澤田男女平等局長

参加者の声

日教組

鳥取県教職員組合西部支部
 坂根 満さん

西田会長の「安倍政権のウソに騙されない」「断らないこと(組合役員)」が印象に残った。

「8時間労働」を破壊する法案の採決が迫っている。学校現場ではすでに膨大な仕事量の前、勤務時間に対する意識は影を潜めている。その中で多くの女性が分会長(学校内の組合役員)を担い、疲労困憊しながらも活動を続けている。どうしたら「断ること(超過勤務)」ができるのか。他労組の闘いに学び、学習を深めたい。

全国農団労

鳥取中央農協労働組合 福田奈々江さん

西田会長の講演の中にあつた「泣かない!」「断らない!」の言葉。これぞ男女平等のために必要な言葉だと思った。

男性と女性には違いがあり、男性は人前で泣くことができないが、女性にはできる。男性は「子どものために早く帰りたい」と言うが「え?」と聞かれるが、女性にはほぼ聞かれない。

女性が「男女平等である」ことを望むならば、①浮かんでくるたくさんの「断る理由」を言わず、②感情があふれさせる涙をコントロールし、③「男性が変えてくれる」と頼らず、「男性社会を変えていくわよ!」「役が来たら断らないわよ!」という強い気持ちが必要だと改めて思った。

連合鳥取&各地協
 Facebookをチェック!!

連合鳥取
 ホームページから
 リンクしてね



だれもが仕事と生活のバランスをとれるよう取り組みをすすめよう!!

— 連合「女性のための全国一斉集中労働相談ホットライン」実施 —



国(内閣府)は毎年6月23日～29日を「男女共同参画週間」と定め、さまざまなキャンペーンを実施しています。

連合も6月を「連合男女平等月間」として取り組んでおり、毎年、「働く女性のための全国一斉労働相談」を展開しています。

これを受け、連合鳥取も全国の連合とともにフリーダイヤルの回線を増設して労働相談キャンペーンに取り組みました。全国的には実施当初(2014年・2015年)は「マタハラ(マタニティハラスメント)」の相談が多数寄せられ、「パワハラ」「セクハラ」「メンタルヘルス」と、「働く女性」の安心で安全な職場環境が守られていない状況が浮き彫りとなりました。

※一人で悩まず電話をください……

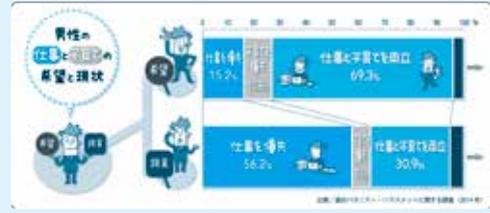
今回(6月15日・16日の2日間実施)の連合鳥取への相談件数0件でしたが、全国では約500件の相談(6月26日まとめ)が寄せられました。

連合「第4次男女平等参画推進計画」を踏まえ、安心して働き続けられる職場環境の整備、女性活躍推進法と改正育児・介護休業法等の周知、職場点検、あらゆるハラスメントの防止等など、年間を通して男女平等の取り組みが必要です。

女性が働きやすい職場は、男性も働きやすい職場です。

「隣の仲間は大丈夫？」

さあ男女がともに働きやすい社会の実現をめざしていきましょう!



男女平等局 **初** の取り組み “産別ヒアリング訪問” 実施中

交通労連・電機連合・電力総連を訪問

6月の男女平等月間の取り組みの一つとして、男女平等局で初めて産別を訪問し、男女平等推進に向けた取り組みの実態把握・課題などについてヒアリングを行いました。

澤田副会長をはじめとする女性執行委員が中心となり、産別を代表する役員のみなさんから貴重なご意見、ご提言をいただき、今後の推進に向けて、前進を図っていきます。

交通労連を訪問(6月5日)



連合鳥取中部地協発／社会貢献活動として北条砂丘を清掃

中部地域協議会の社会貢献活動は、6月2日(土)の朝、北栄町の「北条オートキャンプ場」を含む北条砂丘を清掃するため、21単組71人(推薦議員4人含む)の参加で行いました。

主催者を代表して、坂本浩憲副議長が「地域を清掃すると同時に心もきれいにしましょう」と述べ、推薦議員からは伊藤保鳥取県議会議員と湯原俊二さん(元衆議院議員)に連帯のあいさつをいただきました。

活動は1時間を予定していましたが、比較的きれいな海岸・防風林でしたので、作業を30分で切り上げ、バーベキューを行いながら組合員同士の交流を図りました。そして、地元北栄町議会議員の津川俊仁さんが持参したピザ窯でアツアツのピザをいただくというサプライズもあり、参加者は推薦議員と一緒に活動し、その後のバーベキューとピザを堪能した充実した日となりました。



米子市議会議員選挙 結果

**推薦候補者
全員当選!!**

6月24日(日)、米子市議会議員選挙が実施され、連合鳥取が推薦した3人の候補者は全員当選されました。

■米子市議会議員選挙■

告示日: 6月17日 投開票日: 6月24日

当選	伊藤ひろえ(国民民主党)	2,627票
当選	中田 利幸(JR連合・国民民主党)	2,074票
当選	安達 卓是(自治労)	1,454票



伊藤ひろえさん



中田利幸さん



安達卓是さん

先輩から
若い人たちに伝えたい

政治活動は身近な組合活動だ!!

—西部地協青女フォーラム幹事会メンバー学習会を開催—

西部地協青女フォーラムは、6月13日(水)に「第2回幹事会」を開催し、その前段で「学習会」を行いました。今回のテーマは、青女フォーラムからの要請で「労働組合と政治との関わり」についてディスカッションを交えて講義を行い、最後に「幹事会」でまとめを行いました。

<学習会のポイント>

- ①労働組合が政治活動に取り組むのはなぜか
- ②政治活動の具体的内容
- ③政治と政策

<ディスカッションでの意見>

- ・産別・単組では「政治学習会」がほとんど開催されない。
- ・初めて聞く内容が多かった。
- ・選挙活動(ポスター貼り等)も役員の一部で行っており、全体への声かけがない……等

<まとめ(幹事会にて)>

一番印象に残った言葉は『政治とは無関心でも無関係ではいられない』という言葉だった。政治とは、自らの生活を改善するため、また産業政策にも関わる事でもあるので、政治活動は身近な組合活動だということを若者にも広げ、直近の米子市議会選挙などで、投票率拡大に繋げたい。



<講師・佐貫馨西部地協事務局長の感想>

青年層は決して無関心ではなく、「政治を学ぶ機会を増やし、そして実践の場を与える」ことが重要である。

次回、青女フォーラムからどんなテーマで学習会を行いたいと言ってくるのか楽しみだ。



連合鳥取セイフティネットワーク集會に17人参加

6月22日(金)、「連合鳥取セイフティネットワーク集會」として、マツダ(株)宇品工場(広島市)訪問をしました。

今回は鳥取県内にはない自動車生産工場を視察することにより、先進的な工場内の安全衛生対策、働き方改革の状況を学ぶため企画しました。

【工場見学】

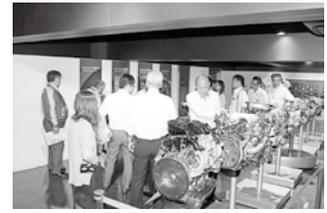
はじめに、工場内にあるマツダミュージアムにおいて、会社・生産自動車の歴史と生産ラインの説明をマツダ労働組合の役員に丁寧に行っていただきました。

工場は、223万平米の広さ(マツダスタジアム97個分)で、長さ1km以上の橋があり、出勤した社員は、工場内に3カ所ある駐車場から自分の職場まで構内バス(15分間隔運行)で移動する現実は、鳥取県内では考えられない光景でした。

工場内での生産ラインは、同型の車を連続して組み立てを行っているものと思いましたが、ラインには色々な車種の車が1台ごと流れていて、車体と部品とが一致するようなシステムになっていて、「車体と部品を取り違えることはない」との説明に驚きを隠せませんでした。

【意見交換】

マツダ労働組合の原田悟副執行委員長の歓迎あいさつに続き、金子哲二組織室長より会社と労働組合の概要について説明をいただきました。また、事前に送っていた質問内容をもとに活発な意見交換を行いました。



Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

2018連合鳥取ピースウォーク		—子どもたちに核兵器も戦争もない未来を—	
地域	東部 (中央)	中部	西部
日時	7月28日(土) デモ出発 9時00分—	7月27日(金) デモ出発 18時30分—	7月30日(月) デモ出発 18時15分—
集合場所 デモ行進 コース	バードハット→ミスタードーナツ前→ 若桜街道→とりぎん文化会館	倉吉体育文化会館→JR倉吉駅前	米子市商工会議所前→JR米子駅前
場所	とりぎん文化会館小ホール	エキパル倉吉	米子市文化ホール
内容	◆行進 ◆映画「この世界の片隅に」上映 ・折り鶴作成 ・アピール採択 ・「映画感想文」募集 	◆行進 ◆平和学習 ○講演 「鳥取から見つめる沖繩」 (池原正雄さん) ・アピール採択 	◆行進 ◆平和学習会 ○アニメ「ジュノー」上映 ・アピール採択 
参加規模	300人	100人	400人

“ザ・議員”

秋山 智博 鳥取市議会議員

2018年2月議会では、

- ①第3次鳥取市経済再生・雇用創造戦略
- ②第2期農業振興プラン
- ③中学校の部活動 について質問しました。

③の中からその一端をご報告します。

【質問】 教員における部活動は、給特法^{*}上の政令で定める超勤の4項目に当てはまらないため、勤務が8時15分から16時45分までの場合、それ以降の部活動に携わるかどうかは、教員の任意の判断でよいと考える。所見を尋ねる。

(※)給特法→公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法

【副教育長答弁】 部活動の顧問は、校務分掌の1つであり、教職員の職務として位置づけるものであるが、勤務時間を超えた場合には、教職員の自発的な勤務として、自主的に業務をしているところである。

左から3番目/秋山議員

小中一貫校の視察(高知市)



福井 康夫 倉吉市議会議員

<3月議会報告より>

認知症高齢者の事故をめぐる、損害賠償の請求事件について取り上げました。

給付金を支給する仕組みについて、愛知県で電車にはねられ死亡された男性の家族に、JR東海より運行遅延の損害賠償請求をする事件があり、一昨年の2016年3月、最高裁判決でこの請求が棄却されました。

しかし、1審2審では家族の監督責任を認めて賠償が命じられていたということでもあります。

そうした社会的な背景を受けて、民間損保や自治体で、認知症高齢者が事故などを起こして損害賠償責任が生じた際、本人や家族に給付金を支給する条例素案づくりや、民間保険の保険料の肩代わりをする事業が始まっています。

これら救済制度を求める高齢者団体の声を反映するよう、当局に求めました。



第89回中部地域メーデー大会に参加

6月1日、最高裁で「長澤運輸事件」と「ハマキョウレックス事件」の判決が下った。ともに、働き方改革に大きな影響を与える判例となるだろう。▼「長澤運輸事件」では、定年退職後再雇用時の労働条件の差異は適法とされ、「ハマキョウレックス事件」では、雇用形態のみの違いによる労働条件の差異は、大半が違法であるとの判断が示された。しかし振り返ってみると、政府主導で規制緩和に舵を切り、企業の経済効率最優先で「非正規雇用」を拡大しておいて、「同一労働・同一賃金」と言われても、いままら感がない。「働き方改革関連法案」は、今国会で成立をめざすといわれ、「同一労働・同一賃金」も「罰則付き時間外労働時間規制」も長年我々労働組合が求めてきたもので、うそつき総理大臣の動向で廃案になることなく成立することを期待する▼一方、法案の中に抱き合わせて提出されている、非常に危うい「高プロ制」があることを忘れてはならない。そして、特定の業種については5年間の猶予期間が設けられ、適用される際にも一般則よりもさらに緩やかな規制内容で、過労死基準を超えるような内容で提案されていることを覚えていてほしい。

(マツザキ)



らんごうとろせ